



OTA OPEN FACTORY

2014.11.29 (sat)

おおたオープンファクトリー 4th



イベント情報

くりらぼ通信

2014年 秋 Vol.0



11月29日(土)に開催される、おおたオープンファクトリー4thでは、くりらぼ多摩川でもイベントが行われます。町工場の香りを残す、くりらぼ多摩川の空気を是非体験してください！

くりらぼcafé

In 事務所棟



町工場巡りに疲れたら、「くりらぼcafé」で、ちょっと一息。「町工BAR」に登場した製品に囲まれて、美味しいお茶やお酒に、軽食はいかがでしょう。そして、大田の空気と味を嗜む、「大田セット」もご用意しています(数量限定)！

くりらぼ工房

In 工場棟

工場棟では、「くりらぼ工房」として、オープンファクトリーやオープン工場情報等を自分で選んで自分で綴じる、「MY OOF BOOK づくり」を開催。大田クリエイティブタウン研究会展示も行います。工場で作った楽器(bridge)による演奏「くりライブ」も？！



創造製作所「くりらぼ多摩川」、オープン！

おおたの職人に、会いに行ける！

町工BAR

夜の灯りに包まれたくりらぼ多摩川をみかけたら、それは、「町工BAR」。月に一回程度、町工場で働く職人・社長の方々や様々なジャンルのゲストをお招きして、普段聞けない貴重なトークを、美味しいお酒を飲みながら伺います。



くりらぼ多摩川からこれ出るあんなに灯りの回うでは、職人さんに参加者による「楽しい夜」が繰り広げられています。



北崎屋酒店さんの日本酒「新田酒造」の「ハル」は町工場の「バージョン」しほか、お酒を飲みながらの状況はヒトトキ！

下町ボブスレーのネットワークから新たな取り組みへ
横田信一郎氏【(株) ナイトペイジャー】

Vol.02 自身のモノづくりへの考え、今取り組んでいるnbikeの開発秘話などをお話して頂きました。その他にも内容が盛りだくさんで、1時間半があつという間でした。

2013/12 2014/2/26

「モノづくりの魅力 ~音楽とつながる!~」
小宮祐樹氏【(有) いわき精機製作所】

Vol.01 お仕事に関するリアルなお話を伺いました。工場で作られたオリジナル楽器「フリッチ」の美しい音色には私たちが含め、参加者みな心を惹きつけられました。

2014/3/26

「下町ボブスレー」にかける想い
細貝淳一氏【(株) マテリアル】

Vol.04 ボブスレー製作に関する苦労話や大田の仲間で作りに至った経緯について伺いました。常に前を見据える細貝社長の歴史や人生観、そして、人柄に魅了されました。

2014/4/23

アイデアが出るまで
高田栄一氏【高田玩具】× 鍋谷孝氏【グラスフォレスト】

Vol.06 お二人にアイデアを生み出す過程について対談して頂きました。ユーモア溢れるトークと物事に対する斬新な視点に会場は驚きと笑いの絶えないものとなりました。

2014/6/27

大田区の「仲間回し」って??
平本叔之氏【プレジジョンファクトリー(株)】

Vol.08 サラリーマンを辞めて工場の仕事に就いた平本さんの苦労話、大田区の町工場の現状などを伺いました。参加者の方々の意見交換もあり大変盛り上がりました。

2014/8/27

「夢を詰めた缶詰の魅力」
谷内啓二氏【(有) 谷啓製作所】

Vol.03 缶詰時に「手の切れない缶詰」や、浸透圧を利用した素材の臭みを減らす「ハイブリッドフーズ」の開発秘話をお話頂きました。細やかな心遣いある製品に、参加者も感動！

2014/5/28

レンズから見た蒲田切子
森谷修氏【写真家】× 鍋谷孝氏【グラスフォレスト】

Vol.05 蒲田の伝統を現代の切子に生かす鍋谷さんと、切子が最も輝く瞬間を撮影し続ける森谷さんのクロストーク。お二人の蒲田切子への情熱がひしひしと伝わりました。

2014/7/25

モノづくりの原点 夢とひらめき
西村英雄氏【一英化学(株)】

Vol.07 スカイツリーの形をした「すべら膳」や「マイクロピペット」部分製造、「ヒートポンプ」など、たくさんユニークなアイデア満載商品の開発秘話が聞けました。

2014/9/30

編集後記

本くりらぼ通信は、くりらぼ多摩川の活動に参加する大学生(横浜国立大学地域課題実習「おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト」参加学生)が取材・作成しました。

チラシ作りに関しては素人ですが、その「想い」を読み取っていただけたらと思います。(森下)

初めての作業が多く苦戦しましたが、一人でも多くの方に読んで頂けると嬉しいです。(山下)

みなさんお疲れ様でした。慣れないイラストレーター作業に苦戦しました…(神谷)

楽しい作業でした!! おおたのものづくりと、人々の情熱を知っていただけたら幸いです。(須藤)

くりらぼの魅力が伝わるように頑張りました。大変でしたが楽しかったです!(サキヤ)

くりらぼで行われる活動の楽しさが伝わる通信を目指してみんなで頑張りました!(穂崎)

写真1枚をとってもおおたのまちは魅力が溢れていて、レイアウトが楽しかったです。(南野)

おおたのものづくりの楽しさがこの通信で伝わることができればと嬉しいです。(服部)

謎の鼻先に苦しめられながら完成したくりらぼ通信、ぜひお家まで持って帰ってください!(高橋)

Activities くりらぼ多摩川で繰り広げられる多様な活動。

くりらぼ多摩川は、「モノづくりのまちづくり」の創造活動拠点として、様々な取組みを実施しています。地域の魅力を高める活動にみなさんも参加してみませんか？

【これまでに行われた主な活動】

8月6日(水) くりらぼモノづくり体験ツアー
くりらぼ夏休み企画、突然の町工場の見学・体験ツアー。今回お世話になったのは、光写真印刷さん。子どもたちが思い思いに描いた絵を印刷して絵葉書を作りました。くりらぼへの帰り道には、あの「100人乗ってモトメツ夫」(イハハ物産)で有名な福葉製作所へ。ギャラリーにはオフィスチェアへの展示があり、工場の新たな一面を垣間見ました。

8月7日(木)~9日(土) こどもモノづくり塾
2013年12~3月に行われた、こどもモノづくり塾の第2弾!今回は、夏休み集中して、ペーパークラフトや木片を使った工作、電気を使った実験などを行いました。子どもたちは自分の手で、はさみやのり、乾電池を使って工作や実験を楽しみました。夏休みの自由研究の役にたつかな?

3月29日 大田の工場×クリエイター ワークショップ in くりらぼ

4月17日 まちあるき「モノづくりのまちめぐりツアー」

5月18日 町工場の技術も体験!モノづくりワークショップ

10月・11月(全4回) ワークショップ vol.1 オオタノカケラ

毎日 けいすけ かずき

くりらぼ通信 Vol.0 2014年11月29日発行

編集: 横浜国立大学「おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト」チーム
編集協力: くりらぼ多摩川・大田クリエイティブタウン研究会
一般社団法人大田観光協会

発行: くりらぼ多摩川(事務局: 一般社団法人 大田観光協会)
〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ2階
TEL:03-3734-0202 FAX:03-3734-0203 MAIL:info@cr2.jp

くりらぼワークショップ



What's CRE.Lab. workshop?

地元大田区の町工場の方々に、いつもはお仕事で使っている技術を教えてもらって、モノづくりをしてみよう！というコンセプトの体験教室です。第1・2回は本物の町工場の方を先生として招き、工場の技術を間近で感じたり、端材を用いた工作などをしました。第3回は少し趣向を変えて、大学の先生と大学生らが授業で行うような模型作りを行いました。今後も様々な先生をお招きして、おたの「モノづくりの力」を身近に感じて頂きたいと思います！

3rd class
2014/10/19(Sun)

ぼくの町工場をつくらう！ わたし

模型によるマイ町工場づくり

講師：横浜国立大学学部長
材料：模型材料（スチレンボード・テープほか）

子供たちに工場をもっと身近に感じてほしいという思いから、これまでのワークショップとは雰囲気を変えて、横浜国立大学の学生たちが、企画から運営までの流れを自分たちの手でいきました。

おたの町にはどんな工場があるんだろう？その工場ではどんな人が住んでいて、どんなものを作っているんだろう？



現在おたにも数多くの工場があり、そのどれもがそれぞれの色を持っていて、小さな部品から大きな機械まで作るものも様々です。そしてその全ての工場がこの国を支えている...子供も大人も改めて町工場の大切さを感じる一日となりました。



大学生よりも
真面目に話を
聞いてくれるな〜(笑)

自分の住む町に、より関心を持ってもらおうと、地域の疑問について、大学の先生と一緒に考えました。おたの町工場やその歴史について学んだあとはさっそく作業開始！ロボット工場やスライム工場、お菓子工場など、それぞれが思い描く理想の工場を、大人も子どもも夢中になって作りました（お母さんも一緒に参戦！）。材料の使い方も十人十色で、どの工場も大学生を驚かせるような発想ばかり。個性が光る素敵な作品となりました。



1st class
2014/6/14(Sat)

真空成型の技術を体験しよう！

樹脂シートによる立体絵画づくり

講師：(株)城南村田さん
材料：樹脂シート・紙粘土ほか

出張町工場は、包装資材の販売から金型製造まで、幅広い事業を展開する城南村田さんでした。普段はチョコレートのパッケージづくりなどに使われる真空成型の技術について、家にある掃除機やヒーターといった機材を用いながら教えていただきました。



機材は家にあるものでも、正確に時間を計り、素早く作業する姿は町工場そのもの。樹脂シートを家庭用ヒーターで温めて、ぎゅっと紙粘土の型にくっつけて、家庭用掃除機で空気を吸い込むと、シートが立体的に真空形成された型に色付けをし、額に挟んで完成。

個性あふれる
作品ができました！



子どもたちは父の日のプレゼントや、お母さんとお揃いの作品、映画のキャラクターまで、様々な作品を作って大満足のワークショップとなりました。

2nd class
2014/7/12(Sat)

樹脂加工の技術に触れてみよう！

サンキャッチャーづくり

講師：シナノ産業(株)さん
材料：樹脂（プラスチックほか）端材

今回お世話になったのは、プラスチックの切削加工を専門に扱うシナノ産業さん。始めに、切削加工と3Dプリンターで同じものを作ったときの、表面のなめらかさや細かさの違いなどを、製品見本を見ながら教えていただきました。

端材からきれいに
生まれ変わったよ〜



次にボール盤で実際に切削加工を体験。プラスチックに穴を開けるだけでも初心者だともよれり溶けてしまったりするけれど、社長さんの開けた穴はとてきれいで職人技を感じました。

その後はおまかせの作業タイム。端材から作った特製パーツでサンキャッチャーと、アクリル同士を薬品でくっつけてペン立てを作りました。最後に、太陽を浴びてきらきら光る作品とみながら記念撮影をしました。



創造製作所 「くりらぼ多摩川」ってなんだろう？
にお答えします。

くりらぼのヒミツ。 多摩川



連絡・らぼ棟
1. 旧工場棟
かつての工場の空気を受け継いだ旧工場(らぼ棟)では、展示やモノづくり体験、小さなイベントワークショップが可後です。

連絡・くり棟
2. 旧事務所棟
かつての事務所空間を改造して、受付・展示空間として活用します。時には会議、カフェ・BARにも使

「くりらぼ多摩川」は、魅力ある「モノづくりのまちづくり」を行うための、地域の「創造活動拠点(創造製作所)」。工場長屋内の使われていなかった旧工場・旧事務所部分を改修して、2013年12月にオープンしました。大田観光協会・大田クリエイティブタウン研究会を中心に、NPO、地域団体、ボランティアガイド、職人さんなど、多くの関係者とともに、企画・運営をしています。

残る、町工場のおい。

数年前まで、町工場として活用していた空間の「空気感」を大切に、旧事務所(くり)棟は、職人や地域住民が気軽に集まれる、明るい交流の場に、旧工場(らぼ)棟は、モノづくりの空気を大切に、体験やワークショップなどが可能な場としてデザインしました。NHK朝ドラ「梅ちゃん先生」の「安岡製作所」の撮影に使われた機械も展示されています！



【左:NHK「梅ちゃん先生」の安岡製作所の機械、右上下:くりらぼ改修前の様子】

モノづくりの良さ、再発見。



【左:町工場BAR、右上:ワークショップの様子、右中・右下:「モノたま」や、工具の展示】

この地で培われてきた「モノづくり」の雰囲気を受け継ぎつつ、新たな「モノづくりのまちづくり」を目指すくりらぼでは、モノづくりの体験ワークショップや子どもモノづくり塾、工場見学ツアーの窓口などに活用するほか、職人のお話の聞ける「町工場BAR」や、気軽に立ち寄れるカフェのような場の使い方を通して、「モノづくりのまち」の価値を再発見できるような場として育んでいくことを目指しています。